

【資料 3-1】

～～リスクコミュニケーション等の実施状況について～～

町職員に対し原子力災害や放射線に係るリスクコミュニケーションのできる人材育成、町民との意見交換の場を設けなどしてリスクコミュニケーションを促進。【H25 年度報告書 P19】

※H27 論点整理一覧表 P 8 (4)

下記により原子力学会の協力を得て、職員を対象とした講習会を実施した。

日 時 平成 26 年 12 月 3 日

場 所 いわき出張所 会議室

参加者 町職員 27 名

<目的> 町の帰還に先立ち、職員自らが原子力発電所や放射能の不安を解消し、町民に対し正しい情報を伝え、原子力災害時にも的確な行動をとること。

<議題> ①福一原子力発電所の現状と廃止措置に向けて
(日本原子力学会福島プロジェクト代表 井上正氏)
②放射線モニタリングと放射線影響
(日本原子力学会会長 藤田玲子氏)

<今後> 町では、今後もこのような講習会を年 1 回程度開催し、職員のリスクコミュニケーションのできる人材育成を目指す。